

国際学部主催オンライン国際交流 2021 前期／チェコ共和国

協定校パラツキー大学の学生とオンラインで結んで、チェコからのゲストスピーカーと国際学部教員がレクチャーします。今回の6月に加えて、後期（9～12月）には、チェコからのゲストスピーカー4名と国際学部教員3名による連続講義を計画しています。

他学部生の聴講を歓迎します。ぜひ参加して下さい。

6月24日（木）16：00～17：30

尾形祐美（おがたひろみ）：絵とことばの作家。チェコでチェコ人の句会を主催。

「南チェコでことばについて考えるーチェコ人が楽しむ句会月見草を主催して」

6月25日（金）16：00～17：30

パヴェル・ヤンシュタ：旅行家、地方議員、市民文化オーガナイザー

「巡礼と俳句ー中欧・エルサレム・広島から長崎へ」（英語）

6月29日（火）16：00～17：30

出羽尚「日本の現代美術」（英語）

ゲスト講師プロフィール

尾形祐美：絵とことばの作家。チェコでチェコ人の句会を主催。

チェコ語を専攻、チェコの映画を研究したあと、銅版画を始める。東京、長野、プラハ、山梨、チェスケーブデヨヴィツェなどで絵とことばの個展を開催。絵本など、絵とことばの作家として活動。チェコ人の夫とともに、チェコ人の俳句の会「月見草」（PUPALKA プパルカ）を主催し、チェコの小学生から大人までを対象に、俳句のワークショップを行う。

ホームページ <http://www.hiromi.cz>

パヴェル・ヤンシュタ：旅行家、地方議員、市民文化オーガナイザー

プラハ、ドレスデン、ミュンヘンで政治学、国際関係学を学ぶ。学生時代から長年、修辞学と創作文のクラスに通う。2010年から2014年まで人口7千人の町、ヴォドニャニで副市長を務める。現在、町の協議会の会員として11年目を迎える。ヴォドニャニにて定期的にペチャクチャナイトを主催。（www.pechakucha.com/cities/vodnany）旅行家として世界各地を徒歩やヒッチハイクで旅行、巡礼した。その体験をもとにした展示、講演会を日本やチェコで開催。芭蕉「おくのほそ道」を日本巡礼中に読み、俳句を始める。

各回のZoomリンクは、C-learningでお知らせしますので、登録して下さい。

「協定校とのオンライン交流」講義コード：683498

問い合わせ：松井貴子 mtaka@cc.utsuomiya-u.ac.jp



尾形祐美氏&パヴェル・ヤンシュタ氏



国際学部出羽尚教員

レクチャー概要

尾形祐美「南チェコでことばについて考えるーチェコ人が楽しむ句会月見草を主催して」

- ・ 俳句の会「月見草 (PUPALKA)」の始まりからこれまでにについて。
- ・ 俳句とは？とチェコ人たちと考えつづけること。
- ・ 俳句の解釈の多様さ。
- ・ 俳句がもつ不思議な力。小学生から高校生までの子供たちと句会をすることで感じたこと。

パヴェル・ヤンシュタ「巡礼と俳句ー中欧・エルサレム・広島から長崎へ」

「Wandering the wor(l)d & haiku - Central Europe, Jerusalem , from Hiroshima to Nagasaki」

巡礼の旅について。

- ・ 出生地ヴォドニャニからエルサレムへ（2010）
- ・ 広島から長崎へ（2015）
- ・ ドイツからスイスを通り、フランスへ（2016）

旅の中で出会った人々、チェコや日本での旅の展示のこと。

そしてこれらの巡礼の旅から、どのように俳句へとたどり着いたか。